

第3回 運営推進会議 議事録

平成 29 年 9 月 20 日

事業所名	デイサービスセンター「笑くぼ」			
開催日時	平成 29 年 9 月 14 日 (木) 14 時 30 分 ~ 15 時 30 分			
開催場所	デイサービスセンター「笑くぼ」フロア隣接の部屋			
参加者	利用者	2 名	知見を有する者	1 名
	利用者家族 (地域住民の代表 急用のため欠席)	1 名	地域包括支援センター (同伴の実習生)	1 名
			事業所職員	3 名
議題	1 運営状況 2 ヒヤリハット・事故報告 3 前回の課題 4 運営委員からの質問 5 運営委員からの評価 6 今後の課題			

会 議 録

1 運営状況

- 利用状況
 利用定員17名のところ、一日平均利用人数13.6名。
 利用者人数34名(男性7名、女性27名)。
 要介護度が比較的軽度の利用者が多い。浴槽に機械浴の設備がないのもその要因のひとつ。
- 月行事

4月:桜の花見(小瀬スポーツ公園)	5月:端午の節句・バラの花見(みさかの湯バラ園)
6月:外出レク(万力公園)・感謝祭マグロ寿司祭	7月:七夕会(輪投げ)
8月:納涼会(縁日風ゲームや盆踊り、かき氷)	9月:敬老会(9/19・20予定)粗品プレゼント
スイカ割(笑くぼの畑で収穫したもの使用)	避難訓練(9/25予定)

 月1回:外出レク・おやつ作りレク
 - ・外出では、季節を感じながら、体を動かす機会を持っていただくようにしている。
 - ・今回初めて、万力公園にて動物とふれ合う企画をし、大変好評を得た。
 - ・七夕会では、利用者様に準備段階から手伝っていただいた。
 - ・夏祭りや縁日でやりたいことを利用者様に聞いて、ご意見を取り入れた納涼会となった。

2 ヒヤリハット・事故報告

- ① 《日時》H29.7.6 《内容》女性・88歳。レク活動にてゲームを行い、ゲーム終了後、椅子に戻る際に尻もちをつく形で転倒。
 - ② 《日時》H29.8.30 《内容》女性・85歳。薬の飲ませ忘れ。
 - ③ 《日時》H29.8.30 《内容》男性・91歳。ベッドでお休みの所、職員が一度離れて戻ると床に正座の姿勢で転落。
 - ④ 《日時》H29.9.5 《内容》女性・91歳。昼食後、薬を2度服用してしまった。
- 4件とも、ご利用者様の状態観察。その後ご家族及びケアマネジャーに管理者より電話にて報告。状態に変化が見られない事やご家族判断にて通常通りデイを利用される。帰宅時に管理者よりご家族に再度説明し、電話報告以降の状態報告をさせて頂く。翌利用日にもご家族に状態確認をするとともに、利用中の変化には注意して観察させて頂いた。

3 前回の課題

- (1) 利用者様の作品展示について
 ⇒コラニー文化ホール、甲府市役所(介護健康フェア)に作品展示及び見学予定。
- (2) イベント・レクリエーション
 ⇒「すみよし愛児園」との交流を打診するも先方から難しいとの判断。日常の中で交流が持てるよう散歩時などで声掛け等の交流を図っていく。
- (3) 水害・土砂災害への備え
 5月に行われた地域の避難訓練に職員1名が参加。よく来てくれたと、歓迎を受けた。今後も地域の防災訓練等には出来る限り参加させていただく。
 水害に関する災害対策マニュアルを見直し、職員会議にて共有を図る。

(裏面に続く)

(4) 地域に根ざした活動

- ・ 甲府市体育協会へ車椅子2台寄贈。

(今後の活動として検討しているもの)

- ・ 認知症等介護分野に関わる研修や、熱中症や食中毒予防など、弊社の看護師が行える研修等を検討・提案し、地域の方に参加して頂く。
- ・ 地域活動(介護等)に必要な際の場所の提供。
- ・ 畑作業のボランティア。

4 運営委員からの質問

- ・ 薬の飲み忘れ、二重服用の報告があったが、その後、具体的な対策はとっているか？

利用者ごとの薬ボックスを用意。朝来たらそこに薬を入れる。また別の職員が薬が正しくボックスに入っているか再度チェックする。服用時もダブルチェックを行い、服用後は、薬のカラをボックスに戻すようにしている。

5 運営委員からの評価

(利用者)

家にいるよりも楽しい。職員は親切で細かいところまで気を使ってくれて、とても感謝している。もう少し屋外を歩く機会を持てたら良いと思う。

(利用者家族)

脳梗塞後、喋るのが大変になったが、笑くぼで趣向を凝らした支援をしてくれて、大分良くなった。回転寿司や花見の外出のときは、家に帰ってからも会話に出てきて、とても印象に残っているようだ。本当に助かっていて、改善点などはない。これからも引き続きお願いしたい。

(知見を有する者)

地域と関わりを持つことも大事だが、デイ内のサービス提供が第一。その点では、ご家族から改善点なしというのは、これ以上ない良いこと。利用者に湿温度計を配って、家に帰ってからの生活もフォローしている点も素晴らしい。

(地域包括支援センター)

会議の場でも利用者へ、今後やりたいことを聞いていて、発展への前向きさを感じた。

地域の方々への看護師による研修は喜ばれると思うので、是非、企画・検討してほしい。

薬の事故に関して、早速対策しているのは良いこと。引き続き、ヒヤリハット・事故への再発防止に努めてほしい。

6 今後の課題

- レクリエーション・イベント

楽しみながら体を動かしたり、歩行したりできるように、今後も様々なレクリエーションを計画していく。

- 利用者の作品展示

①平成29年10月1日～10月31日 コラニー文化ホール

②平成29年11月6日～11月9日 甲府市役所 介護健康フェア

- 看護師による研修

地域の方々に対して、弊社看護師が認知症、熱中症・食中毒予防等の研修ができるか企画・検討する。

- 水害・土砂災害への備え

水害・土砂災害を考慮した非常災害対策を見直す。その内容を職員会議にて共有を図る。

- 「見る」視点を増やす

職員同士で声を掛け合って「見る」視点を増やし、事故が起きないように、努めていく。

次回、第4回運営推進会議は、平成30年3月の予定